

自然と歴史が息づく街「せんだい」



東北の中心都市



人口約100万人の東北地方における中心都市。

利便性の良さ



大型複合施設、グルメ、人気スポット、生活関連施設が充実。ほぼ全てが徒歩圏内の上、JR、地下鉄、バスのアクセスも良い。

歴史ある街



慶長5年伊達政宗が千代を仙台と改め居城。東北大学は明治40年我が国3番目の帝国大学として設置された。以後、仙台市は教育機関の充実により「学都仙台」と呼ばれるようになった。

抜群のアクセス



各キャンパスは緑溢れる環境にあり、経済学部キャンパスは仙台駅から地下鉄でわずか6分。東京から仙台まで新幹線で約1時間半。国内外へのアクセスには仙台国際空港等がある。

スタートアップ×国際都市



仙台市では、多様なステークホルダーと協働し、経済成長の原動力となり社会課題解決にも寄与するスタートアップの連続的創出や発展を推進しています。産学官協働および海外の大学等とも連携した国際的なアントレプレナーシップ教育プログラム「SENDAI GLOBAL STARTUP CAMPUS」へは本学の学生も多数参加。グローバル人材・起業家の輩出、ひいてはその生態系の創出に取り組んでいます。

また仙台市は国家戦略特区として、外国人の創業も促進。オウル市(フィンランド)と産業振興に関する協定締結。アメリカやフランス、中国、韓国等と国際姉妹・友好都市。留学生も多く、国際色豊かな街です。

経済学部 教員の近著例



2026年度 OPEN CAMPUS etc.

オープンキャンパス/入試 info
進学説明会・相談会の情報



▶入試情報はこちら

<https://admissions.tohoku.ac.jp/ja/>

東北大学経済学部・経済学研究科
YouTube チャンネル



▶公式YouTubeチャンネルはこちら

東北大学経済学部・大学院経済学研究科

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

TEL.022-795-6265(学部教務係)

022-795-6268(総務企画係)

www.econ.tohoku.ac.jp



東北大学は、2024年12月、日本初の「国際卓越研究大学」に認定されました。

「国際卓越研究大学」とは、世界トップレベルの研究を行い、その成果を社会や経済に還元できる大学が国が認定する新しい制度です。東北大学はこの第一号として、これまでの歴史と国からの支援を原動力に、大学改革を加速させ、卓越した研究、人材育成、社会との共創を通じて、未来を切り拓いていきます。

東北大学経済学部・大学院経済学研究科 学部・研究科案内

2027

次の百年を創る君たちへ。



TOHOKU UNIVERSITY
Graduate School of Economics and Management
Faculty of Economics



世界は「経済」を
原動力として動いている。



経済学・経営学による
社会科学分析で
未来を構想する

経済学部長・経済学研究科長

松田 安昌

現代社会は、地球環境問題、経済格差の拡大、急速に進展するデジタル技術や人工知能の普及など、複雑で相互に絡み合った課題に直面しています。これらの問題に向き合い、持続可能な社会のあり方を構想するためには、市場や組織、制度の仕組みを的確に理解し、現実のデータに基づいて考える力が不可欠です。

東北大学経済学部では、経済学・経営学による社会科学教育を通じて、社会の仕組みを理論と実証の両面から深く理解し、自ら問いを立てて考え抜く力を養います。少人数ゼミナールでは、教員との対話や学生同士の議論を通して、課題発見力と論理的思考力を磨くことができます。

また、本学部では学部と大学院前期課程を連携させた教育プログラムを整備し、早い段階から高度な学問に触れながら学ぶことが可能です。データ分析力や専門知識を身につけ、日本や世界の経済・社会の課題に主体的に関わる人材の育成を目指しています。

変化の激しい時代だからこそ、表面的な答えにとどまらず、物事の本質を見極める力が求められています。未来の社会を支える知と力を、東北大学経済学部で身につけてみませんか。

CONTENTS

- 03 教育プログラム 5つの特徴
- 04 経済学部の教育／4年間の流れ
- 05 授業・ゼミについて
- 06 学部生の日
- 07 多様なゼミと研究テーマ
- 08 留学プログラム
- 10 大学院
- 12 学部・大学院一貫教育プログラム
- 14 就職
- 15 卒業生の声

Program | 東北大学経済学部 教育プログラム 5つの特徴

1 経済学と経営学の融合教育

VUCA時代を生き抜く基盤となる、
経済学・経営学の両方を学べる！

経済学科・経営学科の所属は3年次のゼミ配属により決定。どちらの学科でも授業科目選択は自由。経済学、経営学、会計学、統計学、経済史学など、すべて学べます。



2 ゼミナールでの少人数教育 (演習/ゼミ)

ゼミでの少人数教育を重視

2年次に少人数・演習形式のプレゼミを開講。3・4年次のゼミで、教員や先輩・後輩との深い信頼関係の中で、専門的に学びを深めます。自ら問いを立て調査研究を行ない演習論文も執筆します。



3 国際教育 (海外への留学支援、留学生の受け入れ)

グローバルに視野が広がる！

- 海外有力大学への留学、学部独自の課題解決型留学など充実
- 文系トップレベルの海外留学派遣数・留学生受入数
- 国を超えて切磋琢磨できる環境

海外協定校
(大学間・部局間)
約 **270** 校

派遣留学
約 **80** 名
文系トップクラス!!

留学生
世界 **23** か国から

就職・進学率
約 **90** %

有名企業に
就職した
卒業生多数

▶ 詳細は8ページへ

4 大学院との連携教育 (5年で学士号と修士号が取得できるコースの設置)

学部・大学院一貫教育プログラム

学部3年次より、目指すキャリアに合わせて5つのプログラムから選ぶことができます。

5年で修士号を取得可能 4年(学部) + 1年(大学院)

▶ 詳細は12ページへ

5 特徴的な入試とデータ科学教育の重視

データ解析・分析ができるビジネスパーソンを目指そう！

理系入試

日本初!

経済学部入試では日本初“理系で学んだ人向け”の入試を導入。

AO入試

3割入学

学ぶ意欲が高い方に魅力的なAO入試を実施。リーダー人材として期待。

データ解析・分析

Society5.0を乗り切るため、データを読み解き分析できるビジネスパーソン・データサイエンティストに! 「人類共通のコトバ」であり経済学・経営学でも必要な数学基礎授業を提供。

「生産・交換・流通・消費・再生産」を分析し、 真の豊かさとは何かを考えるのが、経済学／経営学

経済学部の教育

経済学部の教育は、「経済学と経営学の融合教育」と「少人数教育」を柱としています。
経済学部は経済学科と経営学科の2学科から成っており、学科の所属は3年次に進級したときに選
ゼミナールによって決まります。ただし、どちらの学科に所属しても授業科目の選択は、まったく自由です。
また、ゼミナールでの少人数教育に力を入れており、3・4年次の2年間、教員や先輩・後輩との
深い信頼関係の中で学習と研究を行います。寄附講義も開講しており、企業人の生の声を聴くことができます。

経済学

変動する経済社会のメカニズムを解明する

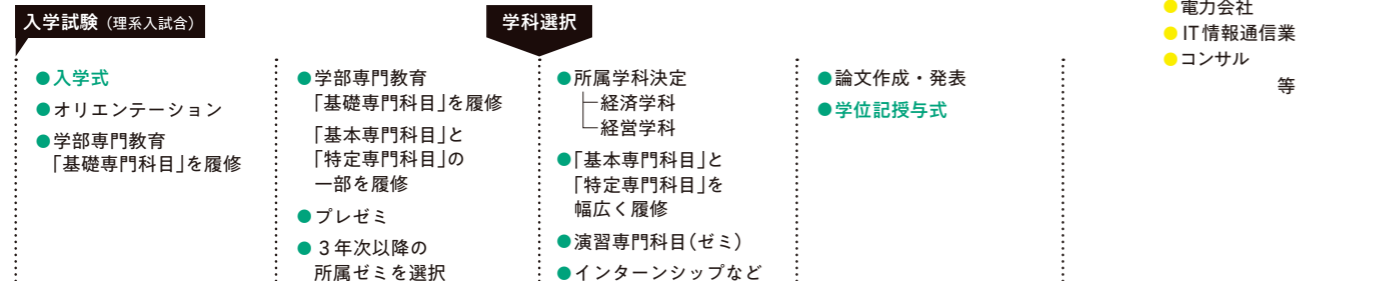
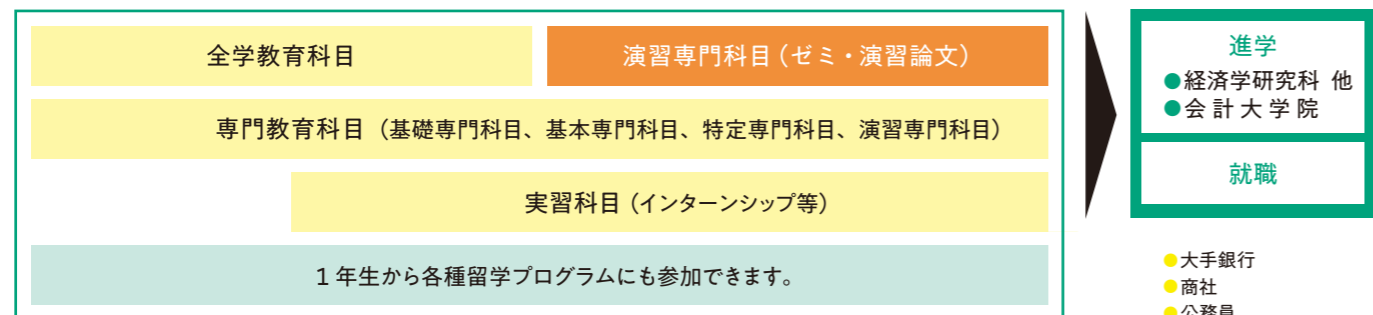
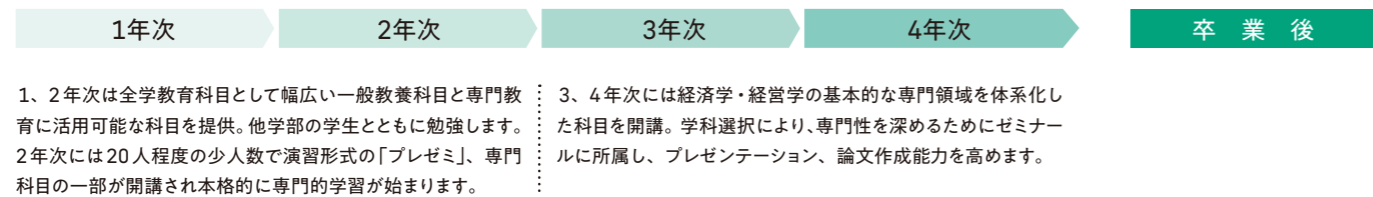
経済と社会の仕組みやその動きを、理論、政策、歴史といっ
た多様な側面から見ていきます。また、統計データの分析
手法を学び、近未来の経済動向を予測します。環境や福祉
にも目を向けます。経済学を学ぶということは、社会を解剖
する技術を身につけることなのです。

経営学

企業や地域社会の抱える諸問題を解決する

企業を中心とするさまざまな経営体の仕組みや運営につ
て学びます。国際化し複雑化した現代社会のなかで企業と
社会はどのように関わるのか、企業の戦略はどうあるべきか、
こうしたことを理論的、歴史的、実践的な角度から見ていき
ます。

4年間の流れ



Lecture and Seminar | 授業・ゼミについて



ゼミ名
経済データ科学演習

計量経済学

石原 卓弥
准教授
ISHIHARA Takuya

経済学における データ分析の重要性

情報技術の発展によって、ビッグデータといわれる非常に大きなデータも分析できるようになり、経済学におけるデータ分析の重要性は高まっています。データ分析というと、自然科学分野のイメージがある人が多いと思いますが、実験を行うことが難しい社会科学分野のデータ分析では自然科学の分野では考えられていなかった問題に取り組む必要があります。そのため、計量経済学という分野では、経済データの分析に特有の問題に取り組んでいます。

私のゼミでは、この計量経済学という分野について学習しています。計量経済学を学ぶには統計学やプログラミングの知識が必要なので、ゼミではテキストを輪読したり実際にコードを書いたりしています。また、データ分析には分析対象についての知識も必要です。ゼミでの学習を通じて、実際の社会問題に興味を持ち、データ分析によってその問題の解決策を考えることができるようになってほしいと思っています。

石原准教授の受賞記録

- 日本経済学会英文学会誌「The Japanese Economic Review」2023年最優秀論文賞を受賞!
- 細谷賞*受賞(2020年)
*データ科学分野の優秀若手研究者に贈られる賞



ゼミの様子(石原ゼミ)



ゼミ名
監査論演習

監査

亀岡 恵理子
准教授
KAMEOKA Eriko

経済社会の発展を支える 資本市場の番人

今日、世の中にはたくさんの情報があふれており、私たちは日々それらを使って意思決定しています。会計学は、経済社会において流通する情報のあるべき量と質を決定するための理論を構築したり、情報をめぐる人や組織の判断・行動がなぜ、どのように起こるのかを解明しようとする学問です。

会計学の一分野に監査があります。巷に拡散する偽情報や誤情報がトラブルを引き起こすように、そのような情報が紛れて流通する社会では、人や組織は判断・行動を誤ってしまったり、疑心暗鬼から判断・行動を控えてしまったりする恐れがあります。こうしたリスクを軽減し、安心して情報を使えるようにするために情報の信頼性を保証する監査が実施されます。会計の仕組みは、情報を介して事業や投資といった経済活動を促進することにより、社会的課題の解決を後押しします。この仕組みがうまく機能するために不可欠な監査について、専門家としてもっと深く学びたいと考えています。

亀岡准教授 メッセージ動画



亀岡先生の授業使用テキスト/資料例

在学生の声①

経済学科3年
田口 菜央さん
小田中ゼミ(社会思想史)所属



TAGUCHI Nao

私の所属するゼミでは、社会思想史に関するさまざまなテーマからゼミ生が話し合って1つを選択し、輪読を行っています。2025年度後期のテーマは「神話」で、「古事記」などの世界の神話を題材に学びました。自分ではなかなか手に取らないような書籍を読み込み、現代の習慣とのつながりや史実との関連を探る大変貴重な時間になったと感じています。経済学部のゼミではありますが、経済・経営に囚われず幅広く知見を深められること、正解のない問いに対してお互いを尊重しながら議論を交わすことができるのが本ゼミの魅力です。

在学生の声②

経営学科3年
佐藤 公輔さん
西出ゼミ(非営利組織論)所属



SATO Kosuke

私が所属するゼミでは、非営利組織(NPO)が社会課題を解決し社会的価値を創出するためにどうすればよいのかを考え、学んでいます。教科書や論文の発表や議論とともに、さまざまな分野におけるNPOの実務家をお招きし、現場が抱える課題についてお話を伺っています。また、実際に自分たちが企画し、現場で活動するプロジェクトを行なう機会もあります。専門知識だけでなく実務面も知ることで、NPOについて体系的に学び実践に活かしています。

Honoka's One day

奈良ほのかさんのとある一日

今日も頑張るぞ!

登校

8:00

しっかり朝型なので、朝はやくから自転車で登校し、勉強します! 川内キャンパス直前の坂を気分で登りきると、朝から汗かいです(笑)



作業タイム(空きコマ)

10:30

空き教室や図書館で、授業の課題や課外活動のタスク、MTGなどをしています。大学生は自由な時間が多いので、自分のやりたいことにたくさんチャレンジできます!



よくMTGしている経済学部アンバサダーのみんなの写真です!

授業

13:00

「ミクロ経済分析」では、微分積分など数学要素も登場。最初は難しく苦戦していましたが、勉強して論理の仕組みを理解したときの爽快感がたまらない!



ゼミ

2年次には、ゼミの基礎を学ぶ「プレゼミ」という少人数の演習があります! 私は社会調査方法論のプレゼミに入り、実際にアンケートを作成して、調査方法の実施から分析までを学びました。自分たちの興味のあるテーマで、実践できることが魅力です!



休日

友達と大好きな野球観戦へ! 5歳のときから楽天チアをやっているのも、もちろん推しチームは楽天! ユニフォームを着て、応援歌を歌いながら全力応援しています!

経済学部学生メッセージ動画



時間割・一日の流れ(例)

時限	MON	FRI
1	ミクロ経済分析	経営原理
2	授業の課題に取り組む	政治経済学原理
昼	MTG (学生アンバサダー)	学食でランチ
3	経営組織	プレゼミ発表の打ち合わせ
4	英語Ⅲ	プレゼミ (社会調査方法論)
5	アルバイト	インターン
放課後	動画編集 (Vlog)	楽天ナイター観戦

授業

8:50

「経営組織」では、組織行動論に関する基本的な概念について勉強します。グループディスカッションが多く、話し合いながら学びを深めることができるから楽しい! 友達もできちゃいます!



昼食

12:00

学食に移動して、友達とランチタイム。種類もたくさんあって、安くておいしいです!



アルバイト・インターン

17:00

放課後はたくさんアルバイトをして、貯めたお金で、長期休みに海外研修や趣味の旅行を思いっきり楽しみます!



大学2年の夏にインドでバックパッカー旅したときの写真載せちゃいます!

さまざまな領域・分野が少人数制で学べます。

演習論文題目例 (経済学部演習論文優秀賞受賞論文題目抜粋)

2025年度(抜粋)

- MICSの出生履歴データを用いたキルギス・トルクメニスタンの出生力回復に関する出生順位別分析
- ドイツ中小企業の競争力と制度的基盤
職業教育訓練と地域イノベーションシステムの機能分析
- 野心的な中期経営計画はなぜ株価を押し下げるのか
— 達成実績・収益性と市場の選別メカニズム —
- 深層学習による都市人流の潜在特徴抽出とその経済学的有用性の検証
- 人口減少下における地方銀行再編の効果検証
- リーマンショックが家計の所得・婚姻確率・出生数に与えた影響
- 地域共創CSVの倫理評価指標と三層モデルの構築
- The educational investment gap by birth order within families
- 社外役員の兼任が財務報告の信頼性にもたらす影響
- 雄勝石製品の需要構造の変化と産地の対応
— 伝統工芸品とともに歩む素材産業 —
- 日本における金融政策と財政政策の伝達効果の時変構造:
TVP-VARモデルによる協調・優位性の実証分析
- 宮城電気鉄道の兼業構想とその実態
- Attribute-Aware Matrix Factorization with Heterogeneity for Large-Scale Retail Data:
Joint Embedding of Customers, Products, and Attributes

令和2年度 東北大学総長教育賞受賞



経済学史
古谷 豊
教授

FURUYA Yutaka

受賞論文 講評

経済学史では、経済学という学問の誕生と、こんにちまでの歩みを辿ります。それを通して、経済学の個々の理論と時代や社会とのつながりや、経済学と他の学問領域とのつながりについての理解を深め、経済学をより深く身につけられるようにします。

経済学史ゼミ生(当時)の茂木拓朗さんが受賞した「アダム・スミス『芸術論』の執筆意図について」という演習論文は、『国富論』の著者アダム・スミスが書いた『芸術論』という作品を、スミスの学問体系のなかに位置づけようとする、スケールの大きい力作でした。

古谷教授
メッセージ動画



経済学部教員
メッセージ動画



数字で見る
東北大学

THE 日本大学
ランキング2025

1位
5年連続1位

朝日新聞大学ランキング2026
学長からの評価
総合評価(教育研究)

1位

高校からの評価
「入学後、生徒を
伸ばしてくれる大学」

1位
5年連続1位

実践的な視点から学ぶ寄附講義



企業等の外部組織から授業提供を受けています。現代社会のニーズに合った授業を開講し、実践的な視点から学び、専門的知識を上げます。

開講授業例

- アセットマネジメント(日本投資顧問協会)
- ツーリズムとインバウンドの経済学Ⅱ(JR東日本)
- キャリアワークショップ(大和総研)
- ビジネスデータ科学(aiforce)
- 資本市場の役割と証券投資(野村証券)
- 損害保険概論(日本損害保険協会)
- 地域財務金融行政論(東北財務局)

企業人の話を
直接聴くことができ、
就職活動にも役立ちます!
アンケートの結果、
多くの学生が
「役に立った」と回答。

留学・海外研修

経済学部では、留学や海外研修を希望する学生を応援しています。留学相談、派遣学生のサポートなどを行っています。



約260校の大学と大学間・部局間協定を締結しています。留学先の授業料等不徴収とする交流協定もあり、多くの学生が留学しています。

東北大学経済学部から世界へ

派遣留学生 約80名

派遣日本人学生比率 文系トップクラス

長期留学

21名 (大学間18名 部局間 3名)

✈️ 主な渡航先
ドイツ、フィンランド、シンガポール、アメリカ等

短期留学

58名 (大学間37名 部局間20名)

✈️ 主な渡航先
アメリカ、イギリス、タイ、マレーシア等

世界から東北大学経済学部へ

23ヶ国から約200名を受け入れています。

国際交流の様子を動画で見よう!



長期交換留学生の声

経済学研究科 経済経営リサーチコース1年 日引ゼミ(環境経済学)所属
岸田 麻巳子さん

- 1年生 短期留学(3週間): 東北大学SAP(Study Abroad Program) 留学先: マレーシア・マラヤ大学(オンライン)
- 3年生 長期留学(10か月間)・大学間交換留学プログラム 留学先: ストックホルム大学(スウェーデン)
- 4年生 東北大学グローバルリーダー認定 学部・大学院一貫プログラム・先行履修

私はスウェーデンのストックホルム大学に2学期間の交換留学をしました。留学先では、環境経済学やジェンダー経済学、労働経済学などの講義を受講しました。環境経済学の講義では、経済活動と気候変動の相互作用を定量的に評価する「地球温暖化の統合評価モデル」について学び、環境問題解決に取り組む上で、経済学と自然科学、倫理的視点を融合させることの重要性を感じました。またジェンダー経済学の講義では、男女間の社会規範が人々の行動にどのような影響をもたらすのか、データや実験を用いて明らかに

▶▶▶ **ストックホルム大学**
Stockholm University, Sweden

する点に面白さを感じました。環境先進国・ジェンダー先進国でこれらの分野に触れ、各国の留学生と議論できたことは、様々な社会課題に目を向ける貴重な経験となりました。

また課外活動では、日本文学サークルの立ち上げや北欧初のピブリオバトルの開催など、文学を軸とした国際交流に力を入れていました。作品を通して日本の歴史的背景や社会問題について議論することで、「日本を客観的な視点で見ると」という留学の目的を実現することができただけでなく、周りの人を巻き込んでイベントのアイデアを形にするという経験ができました。

東北大学経済学部での国際交流の機会は、留学にとどまりません。帰国後は英語開講の講義の履修や留学生との交流を通して、学内でも留学時のような国際的な環境を作ることができると日々実感しています。



日本文学サークルの様子。毎週のテーマに沿った詩を読みました。



他国からの留学生に和食を振舞った際の写真。

関連プログラム・受賞歴

留学や海外研修を支援する経済学部独自のプログラムも充実。全学の海外留学奨励賞では、経済学部の学生はトップの受賞者数を誇っています。

経済・経営分野の課題解決型短期留学プログラム

経済学部研究調査プログラム in Bangkok



2025年3月に19日間、19名の学生をタイに派遣。チュラロンコン大学、タマサート大学からの20名の参加学生と共同で研修を行いました。

主な研修内容

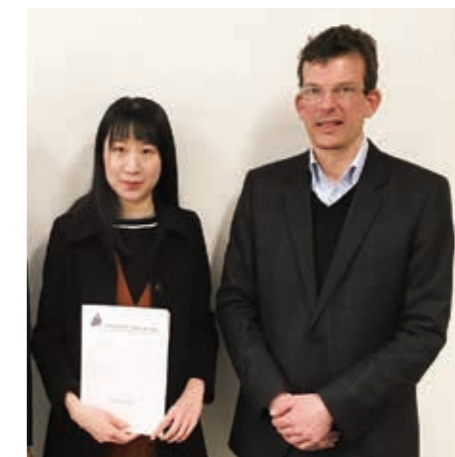
- ①現地のタイアロープロダクツ(矢崎総業のタイ法人)の工場研修(生産プロセスの改善提案)
- ②ニチバン株式会社の製品に関するマーケティング調査(アンケート調査とそのデータ解析)
- ③株式会社高速(包装資材)のビジネスチャンスの調査(プラスチック包装資材の活用状況やリサイクルの取組)
- ④マングローブの植林活動と貧困家庭の子どもの支援する学校支援活動(古着や未使用文房具などの寄付と子どもとの交流)
- ⑤世界遺産・アユタヤ等の視察

学生たちは、独立行政法人日本学生支援機構からの奨学金、卒業生や保護者の方々のご寄附による「みらい創造基金」からの支援を受け、経済学部独自のプログラムで多くの学びを深めることができました。

経済学研究科独自の国際的なプログラム

ダブルディグリー・プログラム

部局間交流協定締結校のドイツ・バダボーン大学と、修士のダブルディグリー・プログラム(双方の修士号が一気に取得できる制度)を行っています。毎年、バダボーン大学と経済学研究科の学生が相互の大学を訪れ、両方の大学で修士号を取得するために勉強をしています。バダボーン大学では、1年間、英語で経済学・経営学の授業を学びます。



バダボーン大学のStefan Jungblut教授から修了証書を受け取った白蘭さん(経済経営学専攻高度グローバル人材コース)

短期留学(海外研修)参加者の声



バンコク高層ビル屋上(一番左が関谷さん)

経済学科3年 矢ヶ崎ゼミ(行動経済学)所属
野尻 健太さん

経済学部2年 北川プレゼミ所属
関谷 響さん

タイ研修での経験

春のタイ研修では、さまざまな課題解決型プログラムに取り組みました。主に2つの活動を紹介します。

1つ目は、自動車部品を製造する日本企業の工場を見学し、作業効率の改善に関する提案を行いました。物事を多角的な視点から考察する重要性を改めて感じました。

2つ目は、テープ製品を扱う企業からの依頼を受け、タイにおけるスポーツテーピングの販売拡大策について発表しました。現地

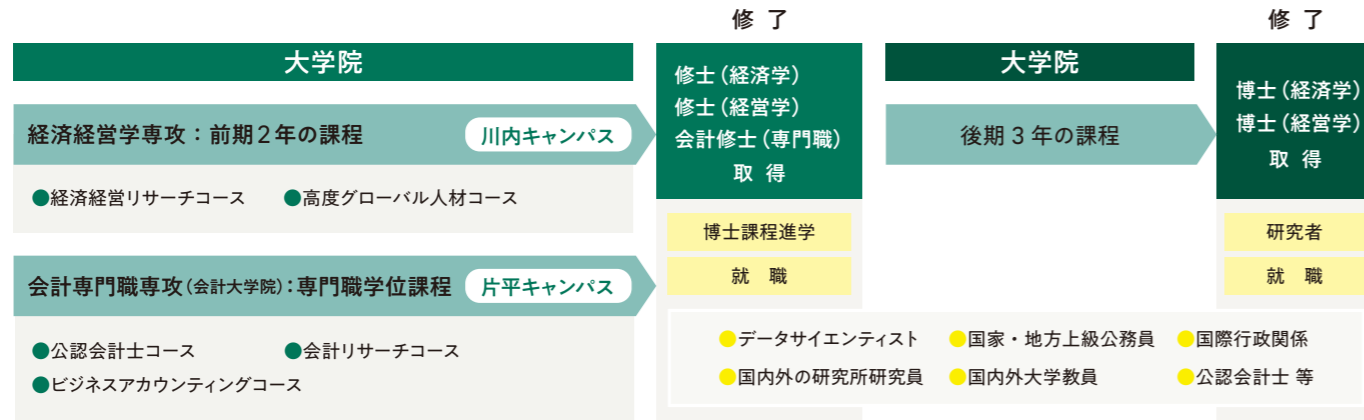
の大学生と協力してアンケート調査を実施し、データ分析やプレゼンテーションのスキルを高めました。

大学、さらにその先の社会では、学力のみならず行動力や表現力、コミュニケーション能力など多様な力が求められます。海外研修は、それらの力を養う絶好の機会です。ぜひ皆さんも海外へ一歩踏み出してみてください。



タイの学生と2ショット(右が野尻さん)

約1割の卒業生が大学院へ進学します。経済経営学専攻と会計専門職専攻(会計大学院)でより高度な専門的知識やスキルを修得することができます。



大学院 経済学研究科 経済経営学専攻

Graduate School of Economics and Management

経済経営学専攻には、経済・経営学分野に精通した職業人や研究者の育成に重点をおく「経済経営リサーチコース」と、グローバル化する社会において国内外で活躍できる高度職業人の育成に重点をおく「高度グローバル人材コース」が設置されています。

経済経営リサーチコース

定員 34 名

幅広い視野をもつプロフェッショナルの養成

今日の経済活動や企業経営の第一線では、これまで以上に高度かつ幅広い知識やスキルが要求されています。博士課程前期2年の課程(修士課程)では、学部卒業生のみならず多くの留学生や社会人も積極的に受け入れ、グローバルかつ学際的なプロフェッショナル教育を実践しています。研究テーマ別に指導教員によるゼミ形式の「演習」やワークショップ形式の「特別演習」などを通して高度な専門的能力を習得することができます。

トップクラスの研究者の養成

本研究科は、東北大学の掲げる「研究第一主義」のもとで我が国を代表する研究者を数多く輩出してきました。こうした伝統と実績の中で、博士課程後期3年の課程(博士課程)では、専門分野において優れた業績をあげる教授陣により、学会での発表や博士論文執筆に向けた個別指導を行っています。本研究科で博士号を取得した多くの人材が、国内はもとより海外でも研究者として活躍しています。

高度グローバル人材コース(GPEM)

定員 26 名

英語で経済学と経営学を学ぶ

経済学と経営学に関する先端的なトピックを英語で学びます。講義、課題、試験をすべて英語でこなすことにより、グローバル社会で通用するスキルと知識が身につきます。日本人学生・外国人留学生の区別なく、共に科目を履修します。日本人学生と外国人留学生在が同じ条件のもとで切磋琢磨あるいは協力することにより、グローバル企業で必要とされる国際的な協働スキルが身につきます。

海外研鑽とプロジェクト企画

高度グローバル人材コースに在籍する学生(外国人特別選抜生は除く)は、一定期間の海外研鑽(本研究科が協定締結している海外の大学への留学、あるいは海外の企業・NGOでのインターンなど)が必修となっています。また、修士論文に替えてプロジェクト報告が必須となっています。教員の指導の下、学生自らがプロジェクトを企画し、実行に移します。また、プロジェクトに関する報告書の作成ならびにプレゼンテーションを英語で行います。グローバルに問題を発見し、解決する能力が身につきます。

大学院 経済学研究科 会計専門職専攻(会計大学院)

Accounting School



東北大学会計大学院では、2005年4月の設置以降、数多くの会計プロフェッショナルを輩出してきました。第一級の研究者教員だけでなく、監査法人や官庁などの第一線で活躍している実務家教員も数多く配置しており、理論と実践が融合した教育を行っています。

公認会計士コース

定員 30 名

国際的に活躍できる公認会計士を養成することを目的としたコース。多くの第一線で活躍する公認会計士を輩出。本コースを修了すると、公認会計士試験短答式試験4科目の一部科目(財務会計論、管理会計論、監査論)が免除される。

会計リサーチコース

定員 5 名

会計研究者を目指す方や、これまでの実務経験を体系化し、リサーチペーパー(修士論文に相当)にまとめることを目指す方のためのコース。将来、大学等の研究機関への就職を考える方には、博士後期課程への進学に向けた指導を実施。

ビジネスアカウンティングコース

定員 5 名

会計分野を中心に、関連領域の知識を獲得することを目指す。会計を軸にしたビジネススクール志向のプログラム。経理や財務職、コンサルタントへの就職、リカレント教育を視座に入れる。社会人学生に配慮し、土日開講科目履修も可。

学部・大学院一貫教育プログラム(高度会計専門家養成)

会計、監査にかかる諸問題を発見、解決する方途を考究・実践できる人材を育成することを目的とし、学部で優秀な成績を収めている学生を対象に行う学部・大学院一貫教育プログラム。

経済学部
4年

学士号取得

+

会計大学院
1年

修士号取得

計5年
早期修了

在学生の声



FUJISAWA Kaho

会計大学院
公認会計士コース2年

藤澤 花帆さん

幅広い分野を体系的に学べるところが魅力

東北大学経済学部で会計学を学んだことを通じて、公認会計士を目指すことを決意し、会計専門職として必要な知識と実践的なスキルをさらに深めるために、東北大学会計大学院へ進学しました。この大学院では、会計の専門知識はもとより、統計やIT、法といった幅広い分野を体系的に学べるのが魅力です。また、実務家教員による講義を通じ、実務の現場をリアルにイメージしながら理解を深めることができます。さらに、職

業倫理の重要性を学び、公認会計士に必要な心構えを育むことができました。高い志を持つ学友や多様なバックグラウンドを持つ留学生・社会人学生と出会い、多くの刺激や励ましをもらいながら、学習に取り組んでいます。

この環境での学びは、将来実務に携わる際に必ず役立つと思います。社会に貢献できる公認会計士を目指して努力を重ねていきます。

学部・大学院一貫教育プログラム

学部・大学院一貫教育プログラムを設置しています。
 目指すキャリアに合わせて5つのプログラムを選ぶことができます。
 より専門的な知識の習得により【4年(学部)+1年(大学院)】
 5年で修士号を取得できます。
 参加学生は学習ラボを拠点として、大学院の授業の先行履修、
 修士論文作成へ向けた研究、自主的な勉強会の開催など、
 早期修了を目指して勉強と研究に励んでいます。



一貫教育プログラムのメリット

- 在籍期間の1年延長で、より深く学習・研究できる
 - 修士号を1年早く取得可能
 - 経済的負担の軽減
- 修士号を生かしたキャリアをいち早く開始!

5つの領域で「知識社会」を支えるグローバルリーダーを育成します

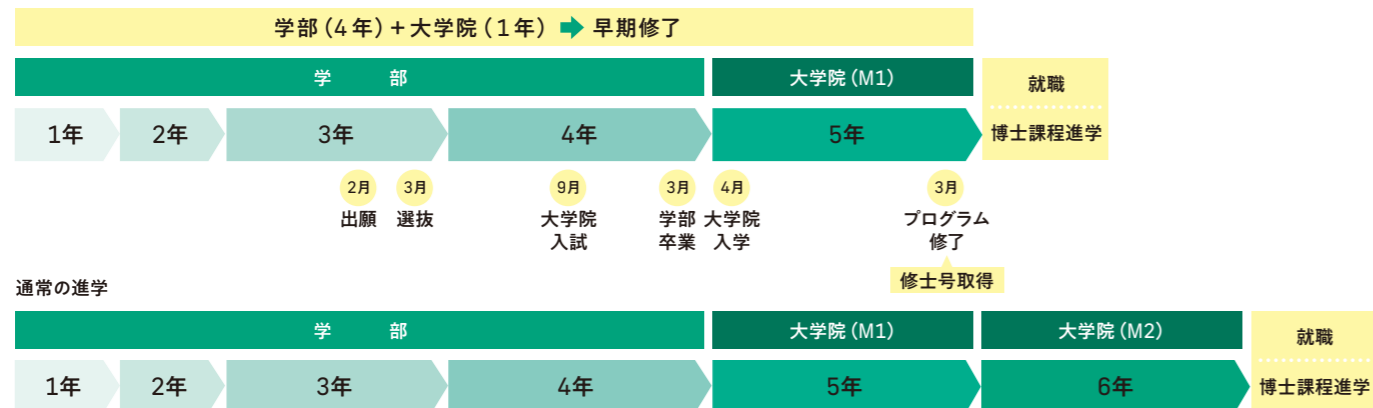
各領域に本プログラムの支援教員(助教)を配置。教育の質の向上を図っています。

- 1 高度グローバル人材コース(GPEM)**
 - 英語による授業および海外研鑽
 - グローバル企業、国際的行政・機関で活躍する人材の養成
- 2 データ科学**
 - 経済・経営分野で活躍するデータサイエンティスト養成
 - データ科学国際共同大学院へ優先的に推薦
- 3 日本の経済・経営**
 - 日本の経済・経営に関するエキスパート養成
 - 日本学国際共同大学院へ優先的に推薦
- 4 高齢社会の地域公共経済政策**
 - 高齢化や人口流出など、東北地域の実践的諸問題を理論的に解決できる公共政策立案者の養成
 - 上級職公務員試験受験に対応
- 5 高度会計専門家養成**
 - 会計、監査にかかる諸問題を発見、解決する方途を考究・実践できる人材を育成
 - 所定の授業科目を履修して修了した場合、公認会計士試験短答式試験の一部科目免除

東北大学国際共同大学院プログラム

東北大学の強みを生かし、部局の枠を超えて本学の英知を結集し、海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実践。他部局・海外有力大学の著名な教員の講義を受講することができます。

出願・選抜・修了・就職までの流れ



学部・大学院一貫教育プログラム 履修生の声

データを通して世界を正しく把握する



HEMMI Tsubasa
 経済学研究科
 データ科学プログラム1年
 石原ゼミ(経済データ科学)所属

逸見 翼さん

「学部・大学院一貫教育プログラム」では、学部4年時に大学院の授業を履修でき、より高度な知識や分析力を習得できます。また、ここで修めた単位は大学院入学後に卒業単位として認められます。その他にも、修士論文を執筆するための指導を学部4年次から受けられます。例えば、修士課程での研究内容や、論文の構成や書き方など細かなことに至るまで丁寧な指導を受けることができます。

私が所属する「データ科学」プログラムでは、プログラム生専用の研究室が利用でき、学部生と大学院生が集まり交流しています。経済学部から大学院に進学する際には、さ

まざまな背景を持つ学生との新たなつながりが生まれるため、孤立する心配はありません。また、授業や研究についてもお互いに相談でき、切磋琢磨できます。

様々な情報が飛び交う現代で、自力でデータを正しく扱い、読み解き、必要な情報を手に入れるスキルは重要性を増しています。しかし今後は、このスキルが標準になり+αが個人を特徴づける時代になると考えます。プログラムを通して経済・経営やデータサイエンスの知識だけでなく、課題発見力や遂行力などを身に着けることは、人生の糧になると確信しています。

学部・大学院一貫教育プログラム 高度グローバル人材コース(GPEM) 修了生の声

GPEMでの経験が仕事の糧に

私は交換留学を通じて組織のマネジメントに関心を抱いたことから、高度グローバル人材コース(GPEM)に進学をし、組織の持続可能性をテーマに研究を行いました。GPEMでは1年間の海外留学と、研究の成果としての英語によるプロジェクト報告が求められますが、私は大学3年生で交換留学をしたことから、学部と大学院を併せて5年で修了しました。交換留学では、台湾で1年間勉強や様々な活動に参加する中で、日本と台湾の学生交流に参加し「この組織が活動を続け、発展するためにはどうすればよいのか?」と疑問に感じたことから、組織の持続性というテーマでプロジェクトを進めたいと考え、組織とマネジメントについて学ぶことができる非営利組織研究室を選択しました。

GPEMのメリットは、日本人・外国人の区別なく切磋琢磨しながら勉強ができることだと思います。GPEMは、授業が英語で行われるため、ディスカッションや論文を読む際に難しさを感じることも多々ありました。

しかし、留学生から英語でのプレゼンテーションの仕方を学んだり、研究に関するアドバイスをし合ったりと、コツコツ努力を重ねていくことで、英語を鍛えると同時に、研究のための基礎知識を身につけることができました。また、授業や研究室で、中国やアフリカの学生とも意見を交換する中で、各国の社会や市場、非営利組織の特徴を知ることができ、自分の視野が広がったように思います。

日々の勉強と研究と並び、就職活動にも力を入れました。交換留学やGPEMを通じて、日本の国際競争力の低下に危機感を覚えた経験から、日本経済の再活性化に貢献できる仕事がしたいと考え、日本貿易振興機構(ジェトロ)に就職を決めました。入構後は、海外調査部に所属し、日本企業の海外展開に関するアンケート調査や、貿易・投資に関するレポートの作成を行いました。2023年からジェトロ・アジア経済研究所の海外派遣員として、台湾で政策や経済に関する調査を行っています。大学院での専攻とは少し異なる分野ではありますが、研究を通じて学んだ調査の作法や情報収集のコツは仕事でも役に立っており、GPEMでの経験は自分の貴重な財産になっていると感じています。



KASHIWASE Asuka
 日本貿易振興機構(JETRO)
 アジア経済研究所 在台北海外派遣員

柏瀬 あすかさん

- 2018年 3月 高度グローバル人材コース(GPEM)修了(経営学修士)
- 2017年 3月 東北大学経済学部卒業、経済学部演習論文優秀賞受賞
- 2015年12月 東北大学グローバルリーダー認定



受賞者挨拶 ▶

なる分野ではありますが、研究を通じて学んだ調査の作法や情報収集のコツは仕事でも役に立っており、GPEMでの経験は自分の貴重な財産になっていると感じています。

進路実績

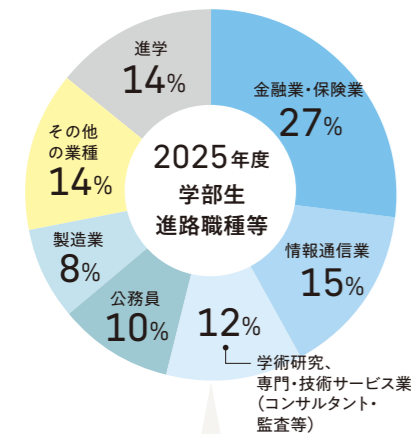
経済学部・経済学研究科の卒業生・修了生は、本学で学んだ深い学識及び卓越した能力を社会で活かしています。また、大学院で高度な専門的知識を学んだ学生は、知識を生かした就職、さらに高みを極める博士課程後期3年の課程(博士課程)に進学しています。

2026年3月現在

学部・大学院		就職者数	進学者数	その他
学部全体 (3月卒 249名)		196名 (79%)	33名 (13%)	20名 (8%)
大学院全体 (3月修了 88名)		54名 (61%)	3名 (4%)	31名 (35%)
経済経営 25名	経済経営リサーチコース	15名 (60%)	2名 (8%)	8名 (32%)
	高度グローバル人材コース			
会計大学院 40名	公認会計士コース	25名 (63%)	0名 (0%)	15名 (37%)
	会計リサーチコース			
	ビジネスアカウンティングコース			

※2025年度 学生進路状況調査より

主な就職先



これまでも金融業や公務員への就業が多いのですが、近年では入社が難しいトップ企業の商社等への就職も増えています。経済学部のグローバルな教育が就職に役立ちます。

学部

財務省	ゆうちょ銀行	東北電力	イオンリテール
金融庁	七十七銀行・他各地銀	アバント	ニトリ
国税庁	各生命保険会社・各損害保険会社	シンプレクス・ホールディングス	日本生活協同組合連合会
経済産業省	カブコン	ソフトバンク	オープンハウスグループ
厚生労働省	コニカミノルタ	ディー・エヌ・エー	日鉄興和不動産株式会社
国土交通省	パナソニックホールディングス	楽天グループ	リモートセンシング技術センター
他 各省庁	三菱重工業	大和総研	各監査法人
裁判所	雪印メグミルク	日本アイ・ピー・エム	サイゼリヤ
都庁・各県庁・市役所	太陽誘電	日本タタ・コンサルタンシー・サービス	アイリスオーヤマ
東北大学	島津製作所	日本総合研究所	博報堂
日本政策金融公庫	東京エレクトロン	NECグループ	アストラゼネカ
大和証券	東亜合成	NTTグループ	アビームコンサルティング
野村証券	日本ハム	U-NEXT HOLDINGS	エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ
日本銀行	富士フイルム	日本航空	電通
日本政策投資銀行	富士電機	日本郵政	EYストラテジーアンドコンサルティング
三菱UFJ銀行	本田技研工業	JR北海道	M&A総合研究所
みずほ銀行	YKK	青葉化成	
三井住友銀行			

大学院(修士)

国税庁	NTN	TOYO TIRE
経済産業省	ヤマハ	NTTデータグループ
各県庁・市役所	ルネサスエレクトロニクス	三井住友銀行
東洋熱工業	日立グローバルライフソリューション	信金中央金庫
NIPPO	三菱電機	東北医科薬科大学
サントリーホールディングス	日立製作所	デロイトトーマツグループ
エーザイ	デンソー	有限責任あずさ監査法人
東芝	本田技研工業	EY新日本有限責任監査法人
日立産機システム	日立建機	PwC Japan有限責任監査法人

大学院(博士)

北海道大学	東北福祉大学	福岡大学
山形大学	宮城大学	ダッカ大学(バングラデシュ)
東北大学	青山学院大学	貿易大学(ベトナム)
筑波大学	桜美林大学	ベトナム国家大学(ベトナム)
金沢大学	上智大学	東南大学(中国)
大阪大学	法政大学	復旦大学(中国)
広島大学	関西学院大学	武漢大学(中国)
岡山大学	兵庫県立大学	アンカラ社会科学大学(トルコ)
東北学院大学	同志社大学	マタラム大学(インドネシア)

卒業生の声

大学で興味を持った分野を、そのままキャリアに活かしていく

私は2021年に経済学部を卒業し、在学期間は福祉経済学を専攻し、実証分析を通じた社会課題分析について学びました。また、入学前から国際交流に関心があり、スウェーデンへの長期留学(学部3年次)をはじめ、短期留学・オンライン留学、国際共修授業や課外活動等を通じ、積極的に海外の方々と出会い、その価値観を理解することを心掛けました。卒業後は国際協力銀行(JBIC)に入社し、日本企業と外国政府・海外企業を繋ぐ立場として、世界に誇る技術やサービスを有する日本企業の海外展開支援や、政府系金融機関として適切な制度のあり方や

リスク管理について定量分析を行う業務に携わってきました。現在のキャリアは、私が大学生活で楽しいと感じた「国際的な環境に身を置いて知見を広げること」や「定量的な分析を通じて説得力のある提言を行うこと」の延長線上にあり、関心のある分野で日々奮闘することができていると感じます。私が現在、楽しみながら国際的な金融の世界でキャリアを歩むことができているのは、柔軟に学びの機会を提供して下さる教職員の方々のサポートやカリキュラムがあったからです。これから入学される皆さんにも、是非ご自身の知的好奇心を信じ、存分に学びを深めてい

ただきたいと思っています。



SHOJI Misai

株式会社国際協力銀行

庄子 美彩さん

強みを磨き、社会課題を解決できる人財へ 一良き聞き手に



ARAI Ryo

株式会社シムネット 人事管理部

新井 怜さん

私は2022年3月に経済学部を卒業しました。在学中には、非営利組織論ゼミで様々

な社会問題と、その解決に取り組む人の熱意に触れました。また、個性豊かな学友に恵まれ、刺激を受けつつ、自身の強みはなんだらうと考えることが多くありました。卒業後は、自分の強みを磨き、社会課題を解決できる人財になりたいと考え、地方の中小企業の社長の右腕となって2年間働くプログラム「VENTURE FOR JAPAN」を通して就職しました。私は自身の強みである「聞く力」を磨く場として、株式会社シムネットを選び人事管理部にて勤務しております。弊社は、「ベトナムにやさしい共生社会」の実現のために、ITの力でベトナムを支えている会社です。

そんな社会の実現のために人事として、人材教育、評価制度の構築、組織作り施策などに取組んでおります。業務の中で大切にしているのは、現場の従業員の方と地道なコミュニケーションを重ねることです。その中でまさに「聞く力」を伸ばすことができていると感じています。「やりたいことは何か」と問われることの多い昨今、大切なのは、常に自分と向き合い続けることかなと思います。その意味で、東北大学での学びと人との出会いを鏡として自分と向き合い、自身の強みに気づけた自分は幸せ者だと思っています。

理系入試概要

AO入試で3割入学

学ぶ意思・意欲が高い方に魅力的なAO入試を実施。リーダー人材として期待されています。

動画でわかる
経済学部
理系パッケージ

学費と入学後のサポート体制

東北大学経済学部の初年度納付額は下記のとおりです。入学時にお支払いいただくのは入学科と前期授業料、合わせて549,900円です(2026年3月現在)。

初年度	入学科	年間授業料	2年目以降	年間授業料
	282,000円	535,800円		535,800円
	【授業料】前期 267,900円 + 後期 267,900円		【授業料】前期 267,900円 + 後期 267,900円	

経済的な理由で授業料などを納付することが困難な場合、条件に応じて入学科・授業料の免除や徴収猶予、月割分納などが認められることがあります。また、各種奨学金による支援制度が充実しています。海外留学のための奨学金制度もあり、学生の可能性を広げるための環境整備を行っています。また、博士課程に進学する学生を支援するための経済学研究科独自の奨学金制度もあります。